

■「仙台市の男女共同参画推進のための計画のあり方について(中間報告)」へのご意見一覧(公聴会)

	分類	ご意見等
1	第2章	現行プラン5年間の評価のところの基本目標6の防災について。2013年から15年まで3年間、仙台市地域防災リーダー(SBL)の養成講座があったが、今年で終わりだ。女性に防災分野でも活躍してもらいたいのであれば、SBLの養成ももう少し続けていただきたい。また、SBLの資格を取った人以外で、力を貸すという女性を町内会活動の中に引き込んでほしい。SBLになっても、町内会活動に入っていくことができない有資格者が多くみられる。その辺を町内会に働きかけをしていただき、中間報告の表現も強く明記してほしい。
2	第4章基本目標2	今、子どもの貧困問題もあるが、働きたい人が働けないような状況が続き、生活保護や賃金の低い人以外にも、路上で生活する人が老若男女を問わず増えている。しっかりとした家庭の中で味わうべきものが失われているからではないか。労働は労働で分けるのではなく、子どもと親がしっかりと一緒にいることができる空間づくりなどが必要ではないか。
3	第4章基本目標2	基本目標2の「男女共同参画への理解の促進」を図るための若者への啓発の推進については、大学や専門学校や高校、障害者の施設などにも推進を図っていくように、促すことができたらよいと思う。子どもや若者の確かな勤労観などに関しては、啓発の推進をもう少し具体的に分かるように、学校や施設にも教えていただけるとよい。
4	第4章基本目標2	ひとり親家庭のことなどについては、例えば母親と苗字が違うなど、いろいろな家庭があるということが小学生ではなかなか分からず、からかわれる原因になるなどしている。男女平等や人権尊重の教育の際に、こうしたことも含めて、もう少し早いうちから行われてもよいのではないかと思う。
5	第4章基本目標3	基本目標3のこれまでの評価では、子育ての部分のサービスは一定程度拡充したと評価されている。今回の新しい目標では、男性の育児休業取得などを推進するところが主になっていて、保育サービスの部分が少ないように見受けられる。子ども・子育て支援新制度に変わったことで、せんだい保育室がなくなり、小規模保育園になって、2歳児以下と3歳児以上を預けるところが分かれてしまった。せんだい保育室であれば、ある程度融通が利いた面もあったが、そういうこともなくなってしまった。こうした問題があり、男性の子育て参加、参画という言い方がよいのか疑問だ。周りを見ても、2人目を1人目と同じ保育所に預けられないということで悩んでいたりと、希望する保育所に入れられないなど様々な理由で復帰をためらうなどの問題を抱えている人がいる。新しい計画では、施設を増やすということだけではなく、預けている市民の現状の問題点を含めて、具体的に盛り込んでいただきたい。
6	第4章基本目標3	保育サービスという言葉に違和感を覚える。保育を考えたときに、預ける側の保護者の都合よりも、預けられる子どもの生活を一番に考え、子どもが育ちゆくすべてのことで、質をきちんとしてほしい。 重点課題の「市の職員のワーク・ライフ・バランスの推進」は、とても良いと思った。公立保育所で働く職員も、正規の身分で精神的にも経済的にも安定すれば、子どもや保護者への対応もとても安定したものになると思うので、その辺についても踏み込んでいただきたい。ほとんどの保育所が公立の保育所という自治体もあるので、税金をどこに使うかということも、考えていただきたい。
7	第4章基本目標3	児童クラブについては、市は平成28年度から対象学年を拡大する予定としているが、それが実現されるのか不安だ。施策の充実を望む。
8	第4章基本目標3	ワーク・ライフ・バランス、性別役割分業意識の問題と人権の問題で、学校教育の中で家庭科が疎かにされているのではないかと。人権教育や性別役割分業が、家庭科の中に位置づけられているということも、重要視した発想が必要ではないか。 性教育についても人権教育と合わせて、学校の中できちんとやっていただくことが大事だと思う。
9	第4章基本目標4	女性活躍推進法は、一部の女性のための施策ではないか。本文では、非正規雇用の問題についても書かれているが、今の情勢では、一部の女性に対する施策だけでは足りないのではないかと感じている。
10	第4章基本目標4	非正規労働者が4割にも達しているという話と、女性の貧困の問題、子どもの貧困の問題がとても大きな社会問題になっている。非正規労働者は、なかなか正規になれず、賃金の格差が開いてきている実態の中で、非正規労働者の問題はどのように扱っていくかということは、この女性の問題の計画の中ではとても重要だと認識している。賃金や労働条件については、企業に対する啓発、連携を行うというまとめをしているが、具体的に何をしていくかが見えない。非正規の問題をきちんと取り扱わないと、高齢期の女性の貧困問題につながるのではないかと感じており、そのことをどのように議論されてきたのかを教えてください。
11	第4章基本目標5	暴力のところは、審議会での審議の結果、あえて「女性」を入れたということは良いと思う。

■「仙台市の男女共同参画推進のための計画のあり方について(中間報告)」へのご意見一覧(公聴会)

	分類	ご意見等
12	第4章基本目標5	今までは、高校生や大学生にデートDVの教育などを行っていると書かれているが、人権尊重や性教育、DVについては、なるべく早いうちに教育をする場が設けてられてもよいのではないか。
13	第4章基本目標5	基本目標5の生涯を通じた健康支援は、リプロダクティブ・ヘルス/ライツの部分だと思いが、施策の方向、重点課題、具体的な施策例にはあまり展開されていない。このことは、特に若い人に、男女共に教育することが大事で、暴力の根絶のためにも重要なので、具体的な施策例に入れると良いのではないか。
14	第4章基本目標6	震災から年数が経ち、忘れ去られている感じがするが、基本目標6に「復興」の言葉が付けられたことは、大変ありがたいことだ。
15	第4章基本目標6	性的マイノリティーについては、現行プランには明確な形で表されているかという疑問だ。今回、基本目標6の中に「性的志向や性同一性障害等を理由とした」という形で盛り込まれ、とても良かった。
16	第4章基本目標6	性的マイノリティーについては、基本目標6では、理解を進めるためということで触れられているが、相談先が必要だと思う。審議会の中でも相談に位置づけてはどうかということが言及されていた。基本目標2で、男性相談の検討ということがあるが、同様に性的マイノリティーに対する相談もしっかり明記していただきたい。
17	第4章基本目標6	DVの中には、同性間のDVや、性的マイノリティーの間でのDVがある。女性に対するDVも深刻であるが、性的マイノリティーに対するDVは相談先が無く、さらに深刻だと言える。性暴力についても、女性や子どもに対する性暴力と書いているが、男性も性暴力を受け、被害も深刻だ。そういったことを仙台市は率先してやってほしいと思う。市長定例会見でも何度も性的マイノリティーのことは言及されている。ぜひ進めていただきたい。
18	第4章基本目標6	誰もが安心して暮らすことができるまちづくりに向けて、ひとり親家庭や高齢者などに対する支援が必要だということを、もう少し大事にしてほしい。
19	第4章基本目標6	市では、障害を理由とする差別の解消を推進するための条例について検討しているが、その中に女性障害者のことが言及された。こうした複合的な問題が一人に重なって、生活困窮に陥っていると思う。そういった視点がもう少しはっきり表れたほうがよいのではないか。一人に複合的にある課題に対して、包括的にどう対処していくかという視点が表れたらよいと思う。いろいろな併記が行政にはありがちだが、それをどうまとめ、縦割りをなくすかということをお願いしたい。
20	第4章基本目標6	家庭に戻るのが難しいから路上生活をする人が絶えない。そういう人たちをつくらないためにも、家庭に戻るのが難しい人たちのための教育などがあればと思う。
21	第4章基本目標6	労働者の話だが、今は施しのスタイルではなく、共に働けるような居場所が提供されないと、路上生活者はどんどん増えていくように感じる。共に働けるような、例えばカフェをつくるのか、ワーキングができるとか、畑をつくるのか、そういった簡単なことでいいのではないかとと思う。
22	その他	意見の提出方法については、どの程度の匿名性を許してもらえるのか。住所、氏名に加えて性別の欄があり、性的マイノリティーの中には、自分はどこにつけたらいいのかと迷う方がいると思われる。住所も仙台市のみでいいのか、名前は仮名でもいいのかということが認めてもらえたらいいと思う。市は、プライバシーを最大限尊重しながら漏らさないということだが、性的マイノリティーや性暴力被害者等は、心配で意見が出せないと思う。そういった声にならない意見をどのように拾っていくかということについて、十分な配慮をお願いしたい。
23	その他	用語解説に、性同一性障害はあるが、性的指向が無い。性的指向について知っている方はあまりいないと思われるため、解説を入れてほしい。また、性的マイノリティーについても、性的指向、性自認、性分化疾患など多様で、包括して性的マイノリティーと呼んだりするので、そういったものを広く含むものだとすることをどこかに入れてほしい。
24	その他	インターセックス、性分化疾患の方がたくさんおられるので、セクシュアル・マイノリティーとか、性的マイノリティーという言葉の説明が用語解説にあると、分かりやすいと思う。
25	その他	放課後の中高生のための居場所づくりが必要ではないか。学生が集まる場として図書館を使っているため、いろいろな人たちが使えない場合がある。もっと居場所があったらよいと思う。
26	その他	離婚歴についても考えるべきだ。未婚か、既婚かと言われると、すごく気になり、適正な言葉はないのか、必ず分けなければいけないのかと思う。離婚歴のある人に対しても何か配慮があればと思う。